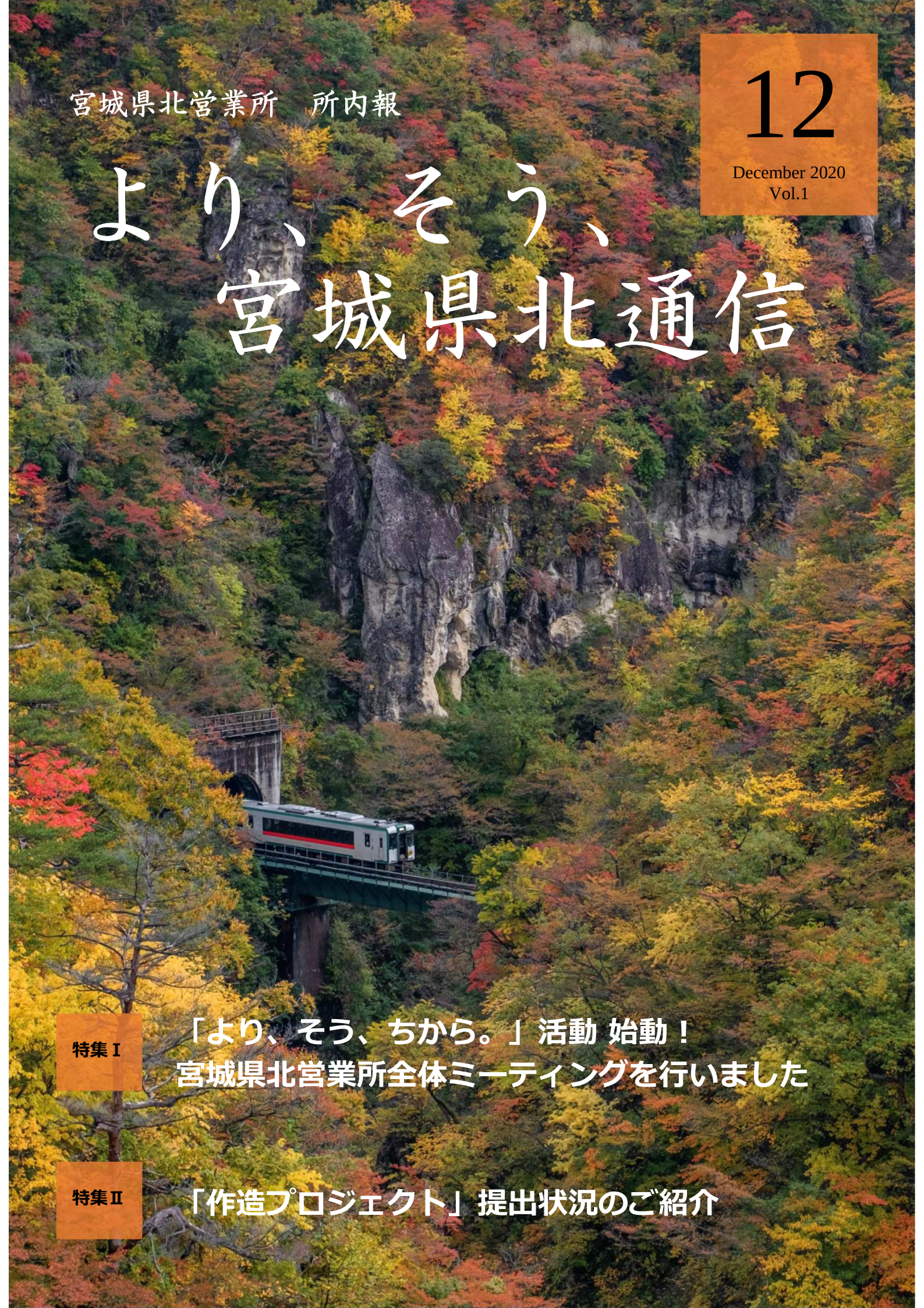
宮城県北営業所　所内報

12

December 2020
Vol.1

より、そう、宮城県北通信



特集Ⅰ

「より、そう、ちから。」活動 始動！
宮城県北営業所全体ミーティングを行いました

特集Ⅱ

「作造プロジェクト」提出状況のご紹介

特集Ⅰ
Feature



「より、そう、ちから。」活動 始動！
宮城県北営業所全体ミーティングを開催

１１月１１日に，今後の宮城県北営業所の「より、そう、ちから。」活動について話し合う，宮城県北営業所全体ミーティングが開催されました。



今後の活動について発表する佐藤担当

今年は新型コロナウイルスの感染拡大により，従来の地域行事への参加やボランティア活動といった，外部の方と接触する活動が実施できない状況に。そこで今回，ビジネスアイデアを考え，お客さまや地域のニーズを発見する力（＝より、そう、ちから。）を養うことを目的とした活動を実施することを，第5期「より、そう、ちから。推進サポーター」の佐藤担当から説明いたしました。

プロジェクト名は「作造プロジェクト」。古川の先人吉野作造と，ビジネスを作る（造る）の２つの意味をかけて命名されたものです。内容は宮城県北地域の魅力を活かしたコンテンツ（サービス）を所員全員で考え，それを元に交流人口増加を目的とした１つのビジネスを作成するというもの。スマート社会実現事業のビジネスアイデア公募に絡めたものとなっており，最終的にはビジネスアイデアとして応募することを予定しています。



プロジェクトの趣旨を説明する門脇所長

特集Ⅱ
Feature

「作造プロジェクト」
～提出状況のご紹介～

	テーマ	サービスイメージ	ターゲット
1	農業体験	米，野菜，くだもの，花き等の農業体験	農業従事希望者等
2	ラムサール条約湿地「蕪栗沼」の保全・管理＆バードウォッチング体験	・「蕪栗沼」の保全・管理体験 ・バードウォッチング体験	環境保全に興味がある方 自然との触れ合いを大切にしたい家族 渡り鳥をメインで撮影するカメラマン
3	週末に癒しを	Weekend Café オルガン堂の魅力発信	珈琲好きの方 スイーツ好きの方 自然に癒されたい方
4	鳴子温泉周辺で，1週間～長期滞在	通年　湯治 春～秋　陶芸・こけし作り教室（秋保工芸の里をイメージ） 冬　スキー・スノボ	1週間～長期滞在可能な方 在宅ワーク 定年された方
5	オートバイで地域の魅力再発見	オートバイのレンタルでツーリングすることにより，自動車では味わえない自然を肌で感じながら，地域の魅力を再発見してもらう。	30～50代のオートバイ好き，好きだけど家庭の事情で手放した人
6	大自然で遊ぼう	管内には海はないけれど広大な土地に川や沼，山がある。大自然で遊べるサービスと併用し長期滞在をしてもらう。	10代～老若男女問わず
7	体験型修学旅行	古民家に泊まって，農作物の植付けや収穫を体験してもらう。	10代～学生，ファミリー
8	地域の生活によりそう	有事の際，避難所として開放する。	全世代
9	異動する広告看板サービス	地域に住む方の協力を得て，マイカーを広告看板として活用する。	企業・店舗
10	エコカーで東北ドライブ	・電気自動車を体験していただく。 ・東北新幹線の栗原高原駅をハブ駅とする。	首都圏のお客さま等

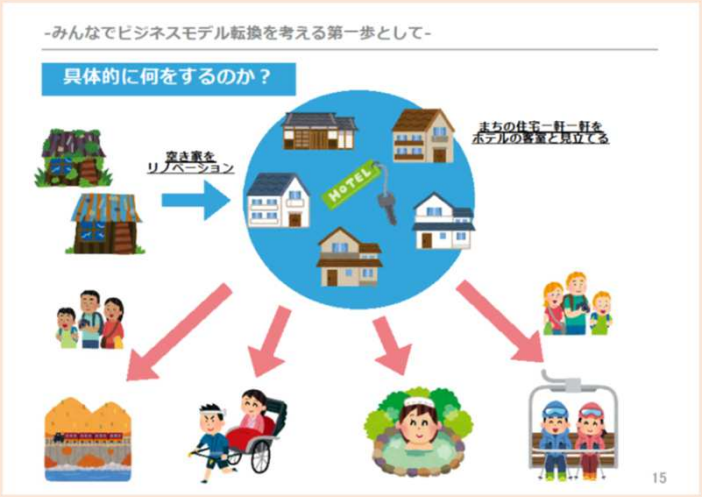
１１月１１日より募集を開始した「作造プロジェクト」のアイデア案。開始から１か月程が経過し，８名の方から１０件のアイデアが提出されています。地域の魅力を活かした体験案や，宮城県北所員だからこそ知っている素敵な店舗の紹介，修学旅行に絡めた案，実際にビジネスに繋がりそうな案など，たくさんの魅力的な案が提出されています。提出してくださったみなさま，本当にありがとうございます！

作造プロジェクトのアイデア案は，年明けの１月１５日まで募集しています。まだ提出されていない方，ぜひ１案はご提出をお願いします。また，もう提出されたという方も第２・第３のアイデアの提出をお待ちしております。もう少しで年末年始を迎えますが，いつもと視点を変えて地域の魅力に目を向けてみてはいかがでしょうか？

おさらい「作造プロジェクト」について

１分で分かる！「作造プロジェクト」とは？

①新規ビジネスアイデアを考えることを通し，お客さまや地域のニーズを発見する力（＝より、そう、ちから。）を養うことを目的としたプロジェクト。
②テーマは「宮城県北営業所管内地域で出来る，交流人口の増加によって地域活性化に繋がるビジネス」。
③過疎地域の空き家をリノベーションし，一軒一軒をホテルの客室に見立てた「まちごとホテル」を拠点としながら，観光・体験・学習・ボランティアなど，多くの人が楽しめるコンテンツ（サービス）を考える。



空き家という地域課題を解決しつつ，観光客が宿泊する施設を充実させようという「まちごとホテル」のアイデア。そこを拠点として，多くの人が楽しめるコンテンツをみなさまより募集しています。

宮城県北所員だからこそ知っている地域の魅力を結集し，１つのビジネスアイデアを作成したいと思っています。たくさんのアイデアお待ちしています！



～ 編 集 後 記 ～

みなさまお疲れ様です！より、そう、ちから。推進サポーターを務めます，佐藤雄基と申します。コロナの状況もあり，できるだけ書面やメール・Teams等の方法で活動を進めていきたいという想いから，この通信を使ってみなさまに活動状況をお伝えしていければと思っています。

今回創刊号(？)ということで気合が入って見開き４ページのものを作ってしまいましたが，今後尻すぼみにならないように次回号も頑張って制作していきたいと思います。表紙の写真は，１０月末に私が鳴子峡で撮影してきたものです。「１２月号なのに紅葉？」というツッコミはどうかお許しください…。



より、そう、宮城県北通信　2020.12　Vol.1
二〇二〇年十二月二十一日発行